

# 社会福祉法人 しがらき会

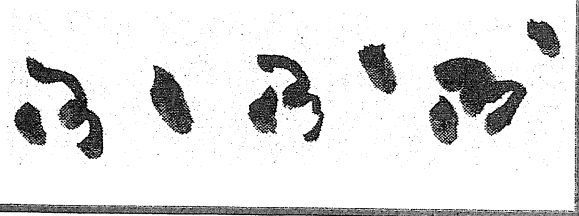
【法人事務局(信楽青年寮内)】

tel 0748-82-0588

fax 0748-82-0961

URL <http://www.shigaraki.or.tv> e-メール [shigaraki@miracle.ocn.ne.jp](mailto:shigaraki@miracle.ocn.ne.jp)

信楽青年寮  
ワークセンター紫香楽  
しがらき地域生活支援センター  
甲賀園暮らし応援センター



## 軽トラック市 開催のご報告



昨年、10月28日に信楽青年寮初の取り組みであります、「軽トラック市」(以下、軽トラ市)を紫香楽ヴィラにて開催致しました。「軽トラ市」とは、軽トラの荷台に売り手が制作・生産した商品を陳列し、販売するという市場のことで、搬入、搬出が容易に出来るという利点があります。準備段階において、右往左往しながらも情報を収集し、何度も打ち合わせを行い、なんとか開催までこぎつけました。当日は10月下旬とは思えないほどの快晴で、軽トラ市開始の合図と同時に、バザー品を見られる方、軽トラ市で店主と会話しながら買い物される方など、思い思いに楽しまれていました。また、コーラー気飲みやじゃんけん大会などの催し物もあり、来場されたお客さんも楽しんで頂ける内容だったのではないかと思います。青年寮初の試みではあり、正直なところ課題もたくさん見つかりました。ですが、「楽しむ」という点に関して言えば、成功したと言えるのではないかと感じました。

今回、皆様にご協力いただいたおかげで、99,700 円の収益を得ることが出来ました。

当事業の収益金は、まちづくりのひとつとして、町内に多目的公衆トイレを創設するための費用に充当させていただき、今後の地域活性化に繋がればと考えています。



☆出店およびバザー品をご提供して下さった皆様、...

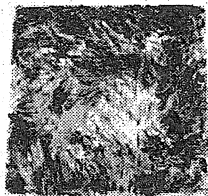
...ご協力ありがとうございました!!! ☆



## 2018年『ぴかっ TO アート展』

～それぞれのカタチ～

今年で 8 回目となる滋賀県手をつなぐ育成会主催の『ぴかっ TO アート展』が 11 月 30 日～12 月 9 日まで草津市のイオンモール草津のイオンホールで開催されました。このぴかっ TO アート展は、県内在住の障がいを持った人たちが制作した絵画や陶芸などのアート作品を公募で審査し、優秀とされた作品をイオンモールに展示する取り組みです。信楽青年寮でも毎年、この公募展に出展しており、過去にも数多くの賞を得ています。今年も入賞者二名(優秀賞・審査委員特別賞)、入選者三名と輝かしい成績を収めることが出来ました。



## ～『ほのぼの交流会』開催のお知らせ～

【日時】平成31年3月16日(土)11:00～14:00《雨天時 11:30～》

【場所】信楽青年寮

【参加】参加費 無料

\*餅つきや出し物を企画しています。

\*地域で暮らす障がいのある方又はハンディキャップをお持ちの方にご参加お待ちしております。

\*屋外で行いますので暖かい服装でお越しください♪

なお、食数の関係上 **2月22日(金)まで** に事前申し込みをして頂きますよう宜しくお願い致します。【TEL 82-0588】

\*町内の皆さんとの出会いを楽しみにしています。

## しがらき地域活性化事業 第3回ワークショップの報告

『Happy Christmas～クリスマスリースをつくろう～』

12月1日(土)、今年度3回目のワークショップをFUJIKI(旧藤喜陶苑)で開催いたしました。今回のテーマは「Happy Christmas クリスマスリースをつくろう」です。クリスマスを前に皆さんでクリスマスリースを作りました。陶器の輪っかに松ぼっくりや綿、リボンやさ織りなどを付けられ、皆さん思い思いのリースを作っておられました。

当日は午前21名、午後16名と、たくさんの方に参加して頂きました。作り終えた後は、クリスマスバージョンのアイシングクッキーと暖かいココアでホッと一息。クッキーとココアが好評で皆さんにとっても喜んでいただけました。

アンケート結果からもワイワイと楽しい時間を過ごして頂いた様で、思い出になるクリスマスリース作りが出来てとても良かったです。

## ☆次回 第4回ワークショップについて☆

テーマ『オリジナル缶バッジを作ろう!』

◇開催日時:平成31年2月16日(土)

●午前の部 10:00～11:00(先着30名)

●午後の部 13:30～15:00(先着30名)

◇開催場所: FUJIKI (旧 藤喜陶苑店舗)

【参加費: 無料】

\*町内在住の方ならどなたでもご参加いただけます。

\*参加希望の方は、信楽青年寮までご連絡をお願いします。【TEL 82-0588】

\*詳細は、商店街各店舗に掲示されていますポスター・チラシをご覧ください。



～皆様のご参加

お待ちしております～

# 「しがらき地域生活 支援センター」 だより

当センターでは、『うろむろ (相談事業)』、『はあとふあく (グループホーム事業)』、『らいふ・かれっじ (居宅介護事業)』の3事業を展開させていただいております。その3つの事業の中で、今回はグループホーム事業の「はあとふあく」とりを紹介させていただきます。

「はあとふあく」とりではグループホームを利用して生活支援、就業支援、グループホーム調整等を行っています。現在、信楽町内に、「はあとふあく」とり」で支援するグループホームは十四カ所あります。一軒家タイプは七カ所、ワンルームタイプは六カ所、利用者さん

の年齢は三〇歳代、八〇歳代、計六十二名の方が利用されています。 「はあとふあく」とりでは、ホームで暮らす障がいを持つ方ひとりひとりが、町の中で自分の意思で自分のしたい暮らし方を決めて生活しておられます。 その生活を支えるために各ホームにキーパーや支援員が居て、毎日の食事提供をしたり、体調管理をしたり、ひとりひとりの困り事等の相談を受けたりしています。

グループホームの利用者さんは、日中、一般企業、福祉型事業所、福祉作業所で働いておられます。

## 「ワークセンター紫香楽」より

### 「こんにちは」

みなさんこんにちは、ワークセンター紫香楽です。 今回は、県外からの問い合わせも多い名刺のご紹介をしたいと思います。

ここで、名刺がお客様の手に届くまでのやりとりを、簡単に説明させていただきます。

①名刺に載せたい情報を、ファックスもしくはメールしていただく。(お問合せいただきましたら、所定の用紙をこちらから送付致します)

②デザイン案をいくつかご提案。 ③案を見ていただき、お客様の「意見」要望を伺い、何度かや



りとりをさせていただきます。 ④デザインが決まったら、作成開始！ ⑤完成・納品 (デザインが決まってから10日から15日ほどかかります)

利用者さんが自分で働いて稼いだお金を自分で計画して使う、自分の楽しみのために使う、喜びを実感できるように、お金の使い方の相談をしたりもしています。利用者さんの働く意欲や喜びを支えることが大事な役割と考えています。

「はあとふあく」とり」は、障がいがあることによる、生きにくさを支えるため、「ご家族、職場、地域の方々、キーパー、関係機関と連携して、利用者さんひとりひとりの思いに寄り添って、

「本人自身が想い描く暮らし」の支援をしていきたいと考えています。これからもみなさまのご理解、ご協力、ご指導の程、宜しくお願い致します

しがらき地域生活支援センター 甲賀市信楽町長野1245 TEL 0748(82)8210

# 「甲賀働き暮らし 支援センター」 だより

水口の障害者雇用・生活支援センター(甲賀)は平成十一年に甲賀郡障害者雇用支援センター(幹旋型)として発足し、今年、二十一年目という大きな節目の年を迎えます。当初は事務所もなく、二名の職員が昼夜を問わず走り回るような状態であったと聞いています

が、平成十四年には厚生労働省より障害者就業・生活支援センター事業を受託し、平成十七年には滋賀県より障害者働き・暮らし支援センターを受託して、徐々に制度が整備され、センターとしての基盤が確立されてきました。最近では平成二十八年に甲賀市より生活困窮者就業支援準備事業を受託し、障害者の方のもとより、社会的弱者の方全般に於ける就労と生活の支援を担っています。そのた

め、当センターに寄せられる相談数は年々、増加し、相談者の方の抱える問題や課題も複雑化しています。私たちには、そのような様々な相談に対応できるように、知識の習得や支援スキルの向上に日々、努力を重ねています。 発足当初、二名だった職員は二十一年の年月を経て、九名に増え、甲賀市の中心部でもある甲賀合同庁舎内に事務所も設けさせて頂くことができました。これもひとえに、地域の皆様の障害者雇用に対するご理解とご協力の賜物であると感謝致しますと同時に、地域の皆様の私たちへの期待の証でもあり、身の引き締まる思いです。

福祉の町「信楽」を手本とし、信楽から学んだノウハウを生かして、

## ダブルクリック 私の視点

今、国民の四人に一人が六十歳以上という超高齢化社会を迎えています。今後も早いスピードで高齢化人口が増加するといわれ、高齢者介護・福祉のあり方が大きな課題となつていきます。

グループホームの利用者は元気に過ごされていますが、五十歳以上の方が半数近くおられます。元気に過ごされていますが、加齢による身体的変化は現れてきます。見え方や聴こえ方が変わってきているのにその変化を伝えられなかったり、筋肉の衰えや

関節が硬くなり、歩行の様子が変わってきている方もおられます。ご自分の変化に気づきにくい分、我々が身体・精神状態・生活機能を考え、病気が悪化しないケアや日常生活機能の維持に努める事、それが大切だと思つていきます。

支援員と看護師がお互いの役割を理解し、グループホームの利用者と支援員が元気に笑顔で過ごせるようなサポートをしていきたいと思つています。

(看護師 C・S 記)

て、甲賀圏域(甲賀市・湖南市)全体が障害者の方と共に働き、共に暮らせる地域となるよう、今後も職員一同、努力して参りたいと思っております。

新たに迎えた新人職員も成長著しく、センター内のチームワークも好調です。二十年目の雇用・生活支援センターにどうぞご期待下さい。

甲賀働き暮らし支援センター 甲賀市水口町水口6200 0748(63)5830

## 職員コラム

私は紫香楽和紙が好きです。 手作りで一枚一枚違つた味のある和紙。どこにもない和紙。

その和紙を新たに商品化するという使命を受け、幅広い世代の方に興味を持ってもらうことを意識しながら考えています。

紙の難しさに行き詰る事もしばしばですが……和紙で見たこと無い物……唯一無二……断捨離傾向な世の中に台風を起こすべく、常識にとられず流行や二番煎じでもなく、信楽から発信させる!!と思いは大きく日々奮闘中。

(C・K)